

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	事業所目標や個人目標を設定し職員会議等で定期的に振り替える機会を持つ。	職員にとって初めての事との事から何をしたいか、何を勉強しなければならないかを目標設定する。	個々の目標設定を行う事と身体拘束について話し合う機会に理念や尊厳の遵守を同時に研修する機会を持つ	年間計画にて
2	(2)	地域との関係性や交流がコロナ過もあり行えていなかった。	組長、民生委員、地域協力員との情報交換で地域交流を行いたい。	包括支援センターから依頼があれば認知症講座など地域に出かけたい。併せて小学生等との交流も再開したい。	2ヶ月
3	(3)	運営推進会議が規定通り行えていなかった。	2ヶ月に1回のペースで運営会議を行い地域に対してグループホームをオープンに関わってもらえるようにしたい。	5月にコロナが5類になる時期にあわせホーム内で運営推進会議を6月より計画し地域の方にホームを見てもらいたい。	3ヶ月
4	(4)	市町村との連携が行えていない。	運営推進会議を通じて市、包括との情報交換を強化する。	定例の期間で運営推進会議の実施。併せて内容の充実を計画する。地域密着型サービス事業者ネットワークへの参加。	2ヶ月に1回
5	(5)	身体拘束に関する研修を年2回開催できていない。	年間研修計画を作成し実施する。	2ヶ月おきの全体ミーティング時の研修で取り組む。	6月・12月の研修時
6	(5-2)	虐待防止に関する研修を年2回開催できていない。	年間研修計画を作成し実施する。	2ヶ月おきの全体ミーティング時の研修で取り組む。身体拘束と虐待防止は関係性が高い事から同時研修とする。	6月・12月の研修時
7	(6)	利用者、家族による運営に関する意見を反映させる機会がない。	家族との情報交換や利用者からの要望などが聞きやすい環境を整える。	6月からの面会制限解除、家族との交流目的の外出、外泊制限の解除を計画している。	3ヶ月
8	(7)	職員による運営に関する意見を反映させる機会がない。	全体ミーティング時に発言の機会を設定、できる事、できない事問わず意見を言える環境を作る。	管理者ミーティング時に経営者に対して報告を上げている。	2ヶ月於きのミーティング時に
9	(7-2)	家族と利用者との絆を維持できるように継続支援が必要。	受診支援に限らず外出や外泊ができるように家族と情報共有ができる。	情報共有やおたより等を利用し帰宅要求や関係性、施設内の取組などから本人、家族間の絆を強くする。	面会制限解除後

10	(8)	馴染みの方との絆を維持できるように継続支援が必要。	面会制限が解除されたのち、面会に同席したり面会者から情報を得る機会を設けたい。	家族同様な面会、昔の関係性など聞き出せるような関係の構築を図る。	面会制限解除後
11	(9)	話を傾聴できる人からは希望や状態の把握はできているが、認知症状が進行している方からの聞き取りは困難な状態。	職員からの意見、情報を集約する事で、その人の希望を想像するなど取り組んでみたい。	実現可能な希望と家族に迷惑となる希望が存在する。施設での外出レクリエーションなどから実現したい。	6ヶ月
12	(9-2)	現状を優先にしており、過去の生活歴などの情報が少ない。	アセスメントや家族からの聞き取りなどの実施。	個々に質問状を作成し、アンケートの様な考えで情報収集したい。併せて面談の機会を持ちたい(担当者会議等)	面会制限解除後
13	(10)	サービス担当者会議の記録が整理されていない事やケアプランの日付が無いケースがあった。	ケアプランの書式統一と会議録の作成基準を統一する。	3月末日をもってワイズマンへの書式統一は完了。会議録やプランの取り直しなどは終了。今後は計画的に行う。	今後は定期的に
14	(11)	主治医との連携、受診支援の継続。	状態変化等はタイムリーに相談できるようにする。	従来の書面による情報提供は継続し必要時は受診同行や入院相談など行える体制をとる。	1ヶ月 5月
15	(12)	重度化、終末期の看取りについての取組が文書化されていない。	他事業所等の情報を参考に対応できる事を精査し書面で作成する。	所内で契約書を基に入院や退所など同様に検討を重ね重要事項説明書に明記できるようにする。	4ヶ月 9月
16	(12-2)	救命講習会などや救急車を呼ぶ訓練などが行っていない。	急変時の対応(デINSへの相談の仕方)や救急車を呼ぶタイミングなど再度徹底する。	6月までのBCP作成にあわせ避難訓練、救急通報訓練の実施。	5ヶ月 10月
17	(13)	年2回の避難訓練ができていない。	総合避難訓練の作成前に1度、作成後に1度行う事で課題をすり合わせる事ができる。	6月までのBCP作成にあわせ避難訓練、救急通報訓練の実施。	5月 9月
18	(14)	利用者との対応話法、尊重とプライバシー保護を優先できるように支援を行えるようにする。	尊厳とプライバシー保護については、身体拘束、虐待防止研修と合わせ利用者の権利を守り、尚且つ個々の対応を職員で共有する。	昨年度より全体ミーティング時に個々の対応などを話し合っている。本年度も継続する。	継続
19	(15)	食事を楽しむ事はできているが、その他については個々の能力に応じた事以外の関りが無い。	今まで通り、個々に出来る事をお手伝いしてもらい自分に自信を持ってもらいたい。	メニュークイズなどの継続。テーブル拭きを依頼する。	継続
20	(16)	オムツ使用を減らす事ができていない。	認知症で尿意、便意が不明な方が半数おられますが個々の排泄サイクルを確認しながら継続した支援を行います。	排便については記録しているが、尿量や頻度など様子を見て対応している為、夜間汚染のある人について裏付けとして排泄表を有効利用したい。	随時

21	(17)	入浴を楽しむ事ができる支援。	入浴を楽しんで気持ちよく生活して欲しい。	職員配置の関係もある事から曜日により実施。受診やお出かけなどにあわせ曜日変更を行っている。本人拒否は間隔の問題もあるが受け入れるようにしている。再度の声掛けにより変更もある。	継続
22	(18)	日常的な外出支援ができていなかった。	3月のマスク緩和を受け4月より花見など外への外出を楽しめるように計画と行う。	施設としては計画的(季節にあわせ)に外出を計画。利用者さんにより畑をしに家族と自宅に戻ったり盆、正月は墓参りなどに出かける等家族に提案したい。	継続
23	(19)	共用空間で居心地よく過ごせるように工夫する事。	季節を感じる事の出来るディスプレイなどを一緒に作ったり飾ったりと話題作りから楽しく過ごせるように支援を行う。	レクリエーション担当が2人任命され季節にあわせ実行している。	継続
24	(20)	居室で居心地の良い環境で過ごせるように工夫する事。	活動を楽しんだ写真や誕生日カードなどを掲示する事で思い出作りができるようにする。	昨年まではお誕生日カードを貼っていたが、今年度より外出レクリエーションを行う事から花見などイベントごとの写真を部屋に貼る予定。	随時